

むつみ

平成28年1月20日発行

発行 新川むつみ園

新川むつみ園保護者会

編集 広報委員会

〒939-0633

富山県下新川郡入善町浦山新2208

TEL (0765) 78-1131

<http://www.mutsumien.com/>



平成二十八年の初春によせて

理事長 井田 善久

新川むつみ園だより「むつみ」をご愛読の皆様、新年明けましておめでとうございます。平成二十八年の初春とともに寿ぎたいと存じます。

昨年は、全国各地で天候不順による猛暑や集中豪雨などの異常な気象に悩まされた年でありましたが、富山県では幸い大きな災害も無く穏やかな一年であったように思います。今年は、エルニーニョ現象により暖かい冬を迎えておりますが、平穏な年になるようにと願っております。

障害者福祉につきましては、平成十五年度からの障害者福祉制度改革の最後となりました「障害者差別解消法」やこの法律を補完する「障害のある人の人権を尊重し県民皆が共にいきいきと輝く富山県づくり条例」の施行が本年四月に予定されています。この法律等の施行により障害者に対する差別の解消と人々が共に人格と個性を尊重しあいながら共生する社会の実現を目指すこととなります。当新川むつみ園におきましても、今まで以上に利用者の意見を尊重した明るい施設づくりに努めてまいり所存でありますので、関係の皆様からの忌憚のないご意見等をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

さて、当新川むつみ園は、昭和五十六年四月の施設開設以来三十四年を経過しておりますが、現在、施設利用者の高齢化・重度化や行動障害のある利用者の増加、更には施設設備の老朽化などの課題に直面しております。このため、昨年から理事会・評議員会において施設整備計画を検討しております。今後、保護者会や関係機関の皆様方のご意見もお聴きしながら計画を進めてまいり所存でありますので、ご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、今年が皆様にとって良い年であるようにご祈念申し上げますとともに、知的障害者福祉に対する深いご理解と社会福祉法人新川むつみ園への変わらぬご支援、ご協力を改めてお願い申し上げます。

新川むつみ園の明るい将来展望

施設整備について

園長 草原 庄一

新川むつみ園では、本年度に「施設整備計画」を策定することになりました。

これは、当初に整備した施設が三十四年を経過し老朽化が目立つことや居住している部屋が四人部屋となつていることに加え、利用者の高齢化・重度化や行動に障害のある利用者が増加傾向にあることから、今後の施設の新設や改築等を計画的に進めるために策定するものです。

現在、その素案となる計画案を当法人の理事・評議員の皆様や利用者の保護者会など関係の皆様からご意見をいただいております。三月までに策定する予定にしています。この計画案の概要について説明します。

「施設整備の基本方針」

①施設入所支援事業の定員は、現状と同数の八十名とする

②新築場所は現在地の西側に隣接して整備する

③新築施設の構造は、平屋建てとして木造造りを主体として検討する

④新築部門の計画

利用者の障害特性を考慮して高齢・重度ユニットと行動障害ユニットに区分し、快適で明るい居住空間を整備する。

☆高齢・重度ユニット

・男女別に個室や二人部屋として整備

・療養型居室を整備し支援者負担軽減のため

めの福祉機器を導入

・リハビリ訓練設備の導入

☆行動障害ユニット

・男女別に障害特性に配慮した個室として整備

・安全に配慮した床・壁・ガラス等を使用

・個室でのテレビ・ビデオ等視聴設備の整備

☆浴室

・高齢者や車椅子利用者が安心して入浴を楽しむことの出来る施設の整備（冷暖房設備の設置、ゆつたりとした空間の確保）

・車椅子でも入浴できる多目的浴槽の整備

☆その他

・利用者の交流やイベントを開催できる交流スペースの整備

・防災や安全に配慮した通路の確保

⑤当初施設（居住棟）の活用

現在の居住棟である青野一区（男子棟二十五名）と青野二区（女子棟二十五名）を活用するため、大規模改修をします。

☆青野二区（現女子棟）

・女子棟として個室や二人部屋として大規模改修（定員二十五名→十三名）

・ゆつたりとした居室スペースの確保

☆青野一区（現男子棟）

・管理棟・作業棟として大規模改修

・新川就業・生活支援センター及び地域生活相談室の事務室及び相談室として整備

・適応訓練室として整備するとともに緊急時の福祉避難施設として活用

⑥施設整備スケジュール

平成二十八年度 富山県、関係市町、関係団体との協議調製、施設配置計画、実施設計の発注等関連業務
平成二十九年 新築整備
平成三十年 青野二区の大規模改修、関連施設の整備
平成三十一年 青野一区の大規模修繕、関連施設の整備

⑦施設整備への理解や支援

施設整備にあたっては、国、富山県、関係市町からのご理解ご支援や地元自治会、福祉関係団体のご理解ご協力が不可欠です。今後、更に関係機関等からのご意見も踏まえ、三月までに施設整備計画を策定し、利用者や保護者の皆様のご期待に添えていきたいと思っています。

一人はみんなの為に
みんなは一人の為に
施設整備に向けて

保護者会長 山本 悦子

利用者・保護者が切に願っていた新川むつみ園改築整備計画が動き出しました。保護者会も検討委員会に加えていただき、七月十三日の第一回委員会以後、細部にわたる考えられた新築の黒部学園、四人部屋を改築したあざみ園、全面改築した新生園の視察を通して、現在、むつみ園がかかえる問題について各棟から中井さん、池崎さん、

森山さん、大坪さん、倉又さん、山本の六名が意見を述べてきました。

また、本年度の保護者会研修先である新潟県にしき園では、草原園長から当園の整備計画を踏まえた事前の質疑事項により、設計者と担当者からの得た説明が頂けました。さらに雨天時も安心な屋根付き乗車場所、清潔に考えられたトイレや洗面所、利用者に合わせたお風呂、それに豪雪地域ならではの明かり取り等、丁寧な現場説明をしていただきました。

一方、むつみ園側からは保護者から積極的な質問が飛び交うほか、利用者や向き合う職員の皆様や事務長からそれぞれの立場での熱く真剣に取り組む思いが伝わり、感謝の思いとともに、保護者の立場でできることは何か、改めて考えさせられました。

私達、保護者は、利用者が一人一人の時間を大切に充実した日々をおくる為、今の生活の中から先を見据えた考えを出し、新川むつみ園に関わる全ての人々がむつみ園を好きになる施設を目指して参りましょう。



▲にしき園での説明

八月には入善町主催の総合避難訓練が入善町防災センターで開催され、当園からは訓練会場に近くの住民である、「グループホーム上原の家」利用者七名が参加しました。

このモデル事業の実施にあたり、八月には入善町主催の総合避難訓練が入善町防災センターで開催され、当園からは訓練会場に近くの住民である、「グループホーム上原の家」利用者七名が参加しました。



▲間仕切りのある避難所の様子

福祉避難所としての地域貢献

「災害時には地域の障がいを持たれた方をお引き受けします」

新川むつみ園は平成二十七年三月に入善町との間で福祉避難所協定を結びました。この協定は災害が発生した場合、当園が所有する施設内に町が福祉避難所を設置し、障害者等を避難所が受入れ、日常生活に支障なく避難生活が送れるようにするものです。入善町にある他の障がい施設の工房あおの丘やにかわ苑でも同様の協定が結ばれています。その後、十月には朝日町とも協定を結んだところであり、今後は黒部市や魚津市との協定も検討され、障害者施設を持つ特性と機能を活かした地域への貢献が望まれています。

また、十月にはモデル事業の検証とも言える避難訓練が工房あおの丘で実施されました。訓練では避難スペースの確保や避難者の誘導、炊き出し等、実際さながらの動きに参加者は一様に緊張と動揺の入混じるなか貴重な訓練となりました。

昨今、災害への対応が急務であり、新川むつみ園が福祉避難所として、その使命を充分果たせるよう職員の研鑽と地域貢献に努めたいと思います。
(池原支援員 記)

「障害者差別解消法を学んで」

「福祉講演会の報告」



▲ 講義に聴き入る参加者

今回の福祉講演会は、例年通り県知的障害者福祉協会の共催と当園保護者会、入善町手をつなぐ育成会の協賛で開催されました。講師には、東洋英和女学院大学大学院教授である石渡和実氏をお招きしました。障害者差別解消法施行を基本に、障害当事者や行政、地域住民の役割についてお話いただきました。

まず初めに、障害者権利条約の成立について、とても詳細に説明を受けました。この条約の特徴と言える「権利主体は障害者」と言うことと

「障害者団体の議論参加」の二点が挙げられていることです。数多くの話し合いの場に当事者参加が繰り返されて、合理的配慮や違いを補い存在を受容・尊重する視点が盛り込まれていきました。

この権利条約を基に国内で動きが出てきたそうです。横浜市の検討部会での事例を挙げられ、当事者発言に丁寧な耳を傾けて情報保障をされたそうです。その結果、合理的配慮の実践にあたっては①障害特性の理解②互いの尊重と一住民としての対応が必要とわかりました。差別の解消は、当事者が意思表明できるように自己決定の重要性と、それに伴う相談支援が大切であることを教えていただきました。

そして、当事者発信の自己決定が周りの支援者や地域住民を動かす力となり、新しい支え合う社会＝差別解消へとつながることを学べた有意義な時間でした。

(山田係長 記)

みんなで広げよう 心の絆

～新川むつみ園祭～

11月8日(日)

今年は、スペシャルゲストTOMOMIさんのステージがあり、たいへん盛り上がりました。



利用者のみなさんの詩吟発表。緊張しながらもがんばりました。



今年度も盛大に行われた新川むつみ園祭。たくさんのボランティア、地域、保護者の皆様に支えられ行うことができました。とても楽しい1日を過ごすことができ、感謝の気持ちでいっぱいです。



お茶席にて、美味しいお抹茶とお菓子をいただきました。



喫茶コーナーでは、毎年恒例豚汁のふるまいがあり、盛況でした。



保護者会の即売コーナーにて。掘り出し物はありましたか？たくさんのご購入ありがとうございました。



大勢のボランティアの方から、支えられ盛り上げていただきました。



むつみあいトピックス



関西電力ボランティア 11月12日



なかなかできない屋上掃除をしていただき、きれいになりました！

ロータリークラブとの交流会 10月1日



レクリエーションをして、よい運動になりました。楽しかったです！

ハートフルフェスティバルに参加 11月23日



野菜や果物等、たくさん売れました！

富山第一銀行ボランティア 11月12日



利用者と一緒にチューリップの球根を植えていただきました。

喫茶ボランティアさん年納め 12月13日



12月にケーキとチョコパイを頂きました。毎年恒例になり、ありがとうございます。一足早いクリスマスプレゼントに利用者は大喜びでした。

ら・こんせーる・のくちゅーる演奏会 (四ツ葉園にて) 12月6日



リズムの良いクリスマスソングに手拍子で楽しみました!!

ノロウイルスの

園内感染について

園長 草原 庄一

本年一月一日から三日にかけて、新川むつみ園内で下痢や嘔吐、腹痛などを訴える利用者が多くあり、黒部市民病院救急に受診しました。症状から、感染性胃腸炎の集団感染が疑われ、新川厚生センターの指導の下に発症者の検便検査や、症状調査、喫食状況調査等の検査の結果、利用者一名と調理従事者二名からノロウイルスGⅡ形が検出されました。幸いにも入院を伴う重症利用者の発生はなく、園内での隔離支援により体調の回復に努めたところです。

園では、発症者の救急受診、園内隔離支援、施設内の消毒の徹底、食事の外部発注、正月帰園の延長依頼等の対応を行ってまいりました。

この間、利用者や保護者の皆様、関係の皆様、新年早々からご協力をお願いを申し上げるとともにご迷惑やご心配をおかけいたし誠に申し訳なく、謹んでお詫び申し上げます。

現在、新川厚生センターからの衛生講習で学んだことを基に、施設の衛生設備状況等の再点検や衛生管理の改善事項について、園内で協議し実施しているところです。今後、利用者や保護者の皆様に安心して利用いただける施設の再構築を目指して努力してまいります。

季節のあゆみ(行事予定)

1月 左義長

新年会(各係)

2月 大漁鍋(入善・朝日町ライオンズクラブとの交流会)

ご寄付ありがとうございました

まごころの花束

- | | | | | | | | | |
|------------------------|-------------------------|---------------------|--------------|----------------------|----------|-------------------------|-----------------------|-----------------------|
| ・新屋地区民生委員児童委員
中易佐喜子 | ・新屋地区社会福祉協議会
会長 藤田 忠 | ・特定非営利活動法人
わかぐさ会 | ・魚津市手をつなぐ育成会 | ・折谷 賢雄 | ・平崎 信子 | ・池崎 助夫 | ・常盤 紘子 | ・柚木 玲子 |
| ・新屋地区長会
会長 大林 松雄 | | | | ・大林 慎二 | ・森下 幸子 | ・坪崎 香苗 | ・寺林 輝定 | ・常楽 正則 |
| | | | | ・富山県野菜出荷組合
協議会事務局 | 代表 水野日登志 | ・入善ロータリークラブ
代表 西村 民子 | ・喫茶ボランティア
代表 西村 民子 | ・喫茶ボランティア
代表 西村 民子 |



ご協力ありがとうございました ボランティア活動

- | | | | | | | |
|-------------------------------|------------------------|----------------------------------|-----------------------|-------------------|-----------------|--------------------|
| ・入善町婦人ボランティア連絡協議会
会長 藤井克津枝 | ・なつめ会
会長 山本 悦子 | ・JAみな穂はびねす
楽山 文代 | ・喫茶ボランティア
代表 西村 民子 | ・入善町理容組合
荒田 優子 | ・スナック紫陽花
吟正会 | ・入善町役場
黒東交通安全協会 |
| ・入善西中学校
入善中学校 | ・宇奈月中学校
高岡第一学園幼稚園教諭 | ・関西電力黒部川電力システムセンター
入善ロータリークラブ | ・入善高等学校
（順不同・敬称略） | ・ら・こんせーる・のくちゅーる | | |

中瀬真優美 主任就業支援ワーカー (係長) が表彰されました

第48回 手をつなぐ育成会連合会東海北陸大会

平成27年9月27日(日)

長年にわたり知的障害のある人の地域生活の実現に深く理解を寄せ、福祉就労、生涯学習、自立支援に多大に尽力されたとして手をつなぐ育成会連合会東海北陸大会において感謝状が授与されました。おめでとうございます。

編集室から

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ致します。

今年は申年。「申(サル)」が「去る」という意味を表し、「悪いことが去る」や「病が去る」などよいことや幸せがやってくる年とする一説があります。この説を信じ、絶対楽しい一年にするぞ!と決意固めるこの頃です。皆様も幸多き一年となりますように。

(M・N記)

新規入所者の紹介

飯野 圭一さん 青野4区所属 (10月1日付)

退職者のお知らせ

【退職】前調理員 小路 桂子 (10月31日付)

困ったこと、悩んでおられることはありませんか?

「障害者相談支援事業」

(サービス等利用計画作成の相談に応じます。)

「新川障害者就業・生活支援センター」

★★まずは気軽にご連絡を…★★

TEL 0765-78-1131

新川むつみ園内 担当: 野寺、米田、今濱
中瀬、西村、島瀬